

広葉樹原木のレポート・前半編

先月の12月20日に開催された北海道産広葉樹銘木市は今シーズントップの9月市から数えて4回目に当たりますが、昨年と比較すると格段に劣化していました。量も少なく昨年比50%減でしかも品質低下は我々プロの業者も驚いています。そして今後もこう言った状況は慢性的に続く事になるだろうと想像しています。今後の広葉樹原材料の供給状況には昨年と較べられない不安感を抱いています。

こんな抽象的な事を述べても多分解からないと思いますので有る数字を下記に書きます。この数字は小生の4ヶ月の苦闘の結果の数字で有ります。

この数字を冷静に見て、もう良質の木材の安定供給は事実上無理になるのかも知れないと思っています。確かにロシア材の入荷が遅れている。北海道の11月の気温が高すぎた為に伐採が凄く遅れている。パルプ材が安いために伐採が遅れている。以上3つの要素が重なった事も事実ですが、結果『今年の広葉樹原料の需給バランス』は今年の広葉樹シーズンが終了する2013年6月にならないと解からないと思います。下記に書いている数量は小生が買い付けた旭川の広葉樹銘木市の仕入れ数量です。

2011年9月	2.042M3	2012年9月	1.461M3
2011年10月	16.773M3	2012年10月	2.889M3
2011年11月	11.936M3	2012年11月	6.821M3
2011年12月	21.766M3	2012年12月	6.996M3
2011年度合計	52.517M3	2012年度合計	18.167M3

小生が買い付けた量と北海道全体の事が完全に一致していないかも知れませんが全体の森林を知って頂ける数字だと思いますし、今の状況は小生の30年の経験から見ても数字の傾向は多分間違っていないと思います。

もし安定供給が出来ないならどうしたら良いのでしょうか。その対策を簡単に整理しました。

- 1、木材事業を廃業する。
- 2、樹種転換を図る。
- 3、他の産地の材を積極的に扱う。
- 4、ある程度継続性のある製品のみを扱う。
- 5、設備投資を行う。
- 6、資金を掛けて在庫積み増しを積極的に行う。

1の事は正直解かりません。服部商店がエンドユーザーのお客様に良い木材の供給が出来なくなった場合だけだと思います。次に2の樹種転換は相当行ってきています。昔の服部はカツラ材の服部でした。しかし今の服部は無垢材の服部だと断言できます。次に3の問題ですが、入荷の思わしくない南洋材(主にアガチス・ジェルトン・ペルポックの原木の製材を増やしています。)現地挽き製材品から、服部商店完全オリジナルの製材品に大幅に転換しています。4の継続性の有る製材品とはアメリカ広葉樹とヨーロッパ広葉樹が対象になりますが、この商品も積極的に取り組んでいます、一長一短(家具には使えるが住い作りには不向きです。)の有る製品です。5の設備投資の事ですが、これは人工乾燥機の導入に該当します。この機械の導入に当って本当に正しいのか凄く葛藤をしました。しかしこのまま天然乾燥技術に頼って来たら資金が持たなくなると思い購入しました。設備は服部商店完全オリジナル乾燥機です。設備搬入は4月中旬を予定しています。最後の在庫積み増しの問題ですが、この件は出来るだけ良い商品を確認しようと考えています。仕入れ単価を大幅に上げればある程度の在庫積み増しは可能ですが、仮に資金繰りが着いたとしても、お客様の希望価格から余りにかい離れた価格では商売にならないと思っています。

2013年は多分過去の経験とか先入観を捨てて掛からないといけない年になる事は間違いないと思います。過去に経験したことがない事が起ころうとも木材を愛する小生は絶対に負けません。小生からのメッセージには昨年以上耳を傾けて欲しいと思っています。

ウォーキング

小生は大阪市住之江区に住んでいます。会社は大阪府岸和田市です。何のきっかけというより体と心の健康の為にウォーキングを始めました。家から会社まで大阪市・堺市・高石市・泉大津市・忠岡町そして岸和田市と有るのですが、普段車で移動しています。距離は22キロくらいですが、歩くと20キロ位です。直線距離で歩けるのでかなりの短縮が出来るのです。小生は今年の10月で55歳になるので無理は出来ませんが、冬場大好きなダイビングに行けないので頑張ってウォーキングをしています。



↑大阪市住之江区国道26号



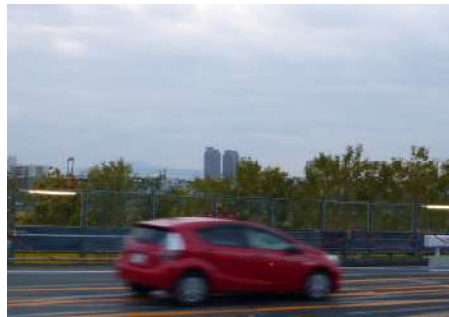
↑大和川



↑鰻の稚魚が取れます。



↑高架道路ではない高速道路



↑遠くに堺市役所が見えます。

家を出ると直ぐに大和川に着きます。鰻の稚魚が豊富に取れるので有名です。そして現在阪神高速大和川線の工事が行われています。又堺市の市役所も見えます。

20分歩けばヨーロッパの映画に出てくる最高級のクルーザーを展示している戎島町に到着しそこから5分で旧のリーガロイヤルホテルに出ます。そしてその前が堺の昔の港です。ここまでの所要時間はおよそ30分です。



クルーザーが3隻展示しています



ホテルの名前が変更されています



左の写真は堺市の消防署です。立派な建物ですが、日夜訓練をしているのを見ます。職員様頑張ってください。

1時間で堺のコンビニートの玄関口の石津に到着しました。さすがにシャープの経営不安が出て少し道もすいています。→





上の写真は塩ラーメンで有名な龍旗信です。石津の交差点から徒歩1分の所に有ります。ここの塩ラーメンは確かに凄くあっさりしていてコクが有り美味しい塩ラーメンです。皆様も行く機会があれば是非召し上がってください。

そして1時間30分で浜寺公園の入り口に着きます。浜寺公園には公園設備以外に色んな設備が整えられています。ボート競技をする浜寺運河も有りその周りは遊歩道で整備され高石市の臨海スポーツセンターまで続いています。



浜寺公園の入り口



マツが植えられた遊歩道



浜寺運河をバック



臨海スポーツセンター

臨海スポーツセンターを過ぎると泉大津市の遊歩道に出ます。この道も整備されていますが多くの泉大津市民が存じているとは思えませんがウォーキングに最適な道です。→



森林浴も楽しめそう



泉大津と忠岡の間を流れる大津川



服部商店本社

朝6時42分に家を出発し10時28分に会社に到着しました。道中車では見ることができない景色に遭遇しました。大阪には多くの施設が有り、もっと利用すべきだと思います。



小生は1ヶ月に1度のペースでこのルートのウォーキングを楽しんでいます。大阪府民は健康の為に今有る公共設備を利用すべきだと感じています。

第12回勉強会と第6回木材展示即売会の開催の御知らせ

先月の服部新聞新年号で日程と内容のアンケートを実施させて頂きました。日程及び樹種のご希望はほぼ同数でした。アンケートにお答え頂いて誠に感謝いたします。

勉強会の日程を3月16日(土曜日)AM10時~AM11時の1時間に決定しました。樹種の最終決定はまだですが広葉樹原木の製材を見て頂こうと思っています。其の時に凄く立派なアメリカンブラックチェリー原木の展示も行う予定をしています。

左の写真は昨年3月24日に開催した第11回勉強会の様子です。又即売会も優良材を各種ご用意しようと思っていますので宜しくお願いします。



右の写真は展示予定のペンシルベニア州産のブラックチェリー原木【長さ8メートルオーバー直径76センチオーバー】です。ご入用の方がいらっしゃれば販売いたします。

来月の服部新聞2月号でもう一度、勉強会と展示即売会のご案内をさせていただきます。

北海道ツアーのご報告

昨年12月19日の北海道見学ツアーに大阪府内で木工所を営む(株)中田木工所の中田社長様をご参加いただきました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。



4枚の写真は中田様に頂いた写真です。服部新聞で小生が何時も一生懸命仕事に打ち込んでいる事を書いています、本当なのかと言う疑問が絶対有ると思います。材料を購入していただくとき、同業他社の材木屋の方が価格は安いと思われる方もいらっしゃると思います。それはそれで仕方が無いと小生は思いますが、服部商店が毎日社員一丸となり仕事を行っている事には自信を持っています。少し価格が高い商品も有ると思いますが、服部商店の商品の中身はこの頂いた写真の中に凝縮していると思っています。

お客様に真実を報告する事こそ真の材木屋(木の横に才をつけて材になる)の仕事だと確信しています。